

家庭学習のポイント

1 正しい生活のリズムを作りましょう！

人間は「習慣の動物」です。大切なことを習慣化することで、効率的に身につける事が出来ます。習慣の基本は「生活のリズム」です。毎日の生活リズムを正しくすることで、学習にも良い効果が現れます。

では、より良い生活習慣とはどのようなものでしょうか

- (1) 就寝時刻、起床時刻を決める。
- (2) 決められた時刻に3度の食事をきちんととる。
(特に朝食が大切です。朝食を摂らないと学校で脳が活発に働かなくなります。)
- (3) 5分前行動を心がける。
- (4) 持ち物は前日にそろえる。(朝の余裕を作ります。)
- (5) 学習時間を設定し、その時間は必ず机に向かう。

2 自ら学習する習慣を作りましょう！

学習とは、今まで分からなかった事を分かるようにする活動です。このとき、自分は何が分からないのかを知っているのは自分だけです。ですから、自ら学習課題を設定し学習に取り組めるようになることが大切です。

では、どのようにするとその習慣が出来るのでしょうか。

- (1) 帰宅したら、まず机に座りましょう。(学習への扉を開けましょう。)
- (2) 宿題は必ずしましょう。(学習する習慣を作ります。)
- (3) 決まった時間に、決まった場所で学習しましょう。(学習への意欲付けを進めていきます。)
- (4) 学習環境を整えましょう。(学習に集中できるように、学習に必要な物を片付けましょう。)
- (5) 学校の授業の復習を、ノートを見ながら進めてみましょう。(課題探しの導入段階です。)
- (6) テストで間違えた問題を解き直してみましょう。(誤答分析といいます。)
- (7) 参考書や辞書を使って、分からない学習について調べてみましょう。(調べ学習の段階に入ります。)
- (8) テストで間違えた問題と同じような問題を、問題集の中から探してやってみましょう。(定着のための学習です。)
- (9) 『自主勉強ノート』を作って、毎日自主勉強をしましょう。

各教科のポイント

国語の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 読む（口、耳）、書く（手）など、五感を使う教科です。
- (2) 繰り返しの学習で、基礎・基本が身につきます。

2 お勧め学習法

- (1) 何度も教科書を音読しましょう。
(黙読よりも目、耳、口を使うことで効果があります。)
- (2) 現在習っているところの、分かりにくい言葉の意味を調べましょう。
- (3) 漢字プリントの漢字を覚えましょう。
- (4) 漢字テストの間違ったところをやり直しましょう。
- (5) ノートのまとめをこまめにしましょう。
- (6) 余裕のある人は、自主勉強で国語力アップを目指して次のことにもチャレンジしてみてください（ノートにやりましょう）
 - ① 『国語スキル』を何度もやりなおす。
 - ② テストで間違えたところをノートにやりなおす。
 - ③ 自分で薄い問題集を買って、何度もやる。



3 教科担任から一言

日頃から本を読みましょう！

国語の学習に役立つということもありますが、

本からたくさんの人生、たくさんの知恵を学ぶことができます。

社会の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 学習の内容が、地理、歴史、公民の3分野あります。
- (2) 記憶が必要な年号や記号、用語がたくさん出てきます。
- (3) グラフや表を読む力が必要になります。

2 お勧め学習法

- (1) 教科書を必ず読む。太字の単語を自主勉ノートに書きぬき覚えましょう。テストは教科書にのっていることから出ることがほとんどです。本文だけでなく、資料や地図、グラフなども見ておくことが必要です。
- (2) 教科書にのっている言葉で、意味がわからないものは、自分で調べるか、班の人や友だち、先生に聞いて意味を理解しておくようにしましょう。
- (3) 授業中に線を引いた言葉や先生が「テストに出るぞ!」といていた言葉は必ず覚えましょう。
- (4) 練習問題を必ずやり、問題を読みながら暗記していくようにしましょう。
- (5) さらに社会を極めたい人は
 - ①社会に関係するテレビ番組をできるだけ見るようにし、興味を持てるように頑張るとよいです。
 - ②新聞やテレビのニュースをみるようにするとよいです。
 - ③上の①・②をしているときにわからない言葉や地名が出てきたときはすぐに調べておくとよいです。
 - ④自分で問題集を買い、同じものを何回も繰り返してやり、暗記してしまうまでくりかえすとよいです。

3 教科担任から一言

社会は重要語句がたくさんあって大変な教科ではありますが、覚えていくと次々と関連ある項目も覚えることができるようになります。地道な努力を続けることが一番なのですが、授業中でもやっている3つの事柄をリズムをつけて覚えたり、1日5回音読するなどして、声に出して覚えるやり方が効果的です。



数学の学習のポイント



1 教科の特性

- (1) 数と式、図形、関数、資料の活用の4領域の学習をします。
- (2) 一つの問題を理解し、その方法を活用し、類似問題を解けるようにします。
- (3) 積み重ねの学習なので、つまづきの解消が理解の深さと直結します。

2 お勧め学習法

- (1) ワークで習った範囲の復習を行きましょう。
 - 基本的には、復習をすること。(余裕がある人は、予習もすると良い。)
 - 例) ・その日授業で習った教科書の問題を、見ないでもう一度解く。
 - ・授業用のワークで、毎日習った所の問題を解く。
 - 丸付けは、必ず問題を解いた後にすぐに行い、解きっ放しにしない。せっかく解いても、解きっ放しでは、自分の間違いに気が付きません。間違えたものはすぐにやり直して、どこで間違えたのかを確認するとよいです。
結果も大切ですが、途中の考え方や計算が大切です。ワークの解説をしっかりと理解しましょう。
 - 間違った問題は、チェックをし、繰り返し何度も解き直す。新しい問題を何種類も解くよりは、同じ問題を繰り返し解く方が効果的。
 - 分からない問題をそのままにしない。まずは、教科書や問題集の解答・解説を見てみる。もし、いくら考えても分からない場合は、学校で先生や友達に聞く。
- (2) 自主勉強に取り組むましょう。
 - 弱克(じゃっこく)ノートを解きましょう。
弱克ノートは、あなたの弱点の塊です。学力テスト前や、月に1回など決めて、定期的に行いましょう。
 - さらに自主的に学習をしましょう。学校でもプリントを用意するので、活用しよう。欲しい生徒は、先生に声をかけてください。
 - 自分のレベルに合った問題を購入しましょう。
問題集を購入する際は、「①解説が自分にとってわかりやすいもの ②ページ数があまり多くないもの ③自分のレベルに合っているもの」を購入するとよいでしょう。

3 教科担任から一言

数学は、積み重ねの科目です。繰り返し同じ問題を解くことで、パターンを覚え土台を作っていきます。そして、努力した分だけ積み重なり、効果として現れる教科です。理解してくると、解くことも楽しくなってくるはずです。努力は必ず裏切らない。頑張って学習を進めましょう!!!!

理科の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 物理、化学、生物、地学の4分野からなる教科です。
- (2) 実験や観察を行うとき、「なぜ」→「予想」→「実験」→「結果」→「考察」という流れで授業が行われます。
- (3) 用語や法則、公式など暗記が必要です。

2 お勧め学習法

- (1) 週に2回ぐらいは家で理科の復習をしましょう。
- (2) 教科書、授業用ノートを開き、授業の様子を思い出しながら要点をノートにまとめていきます。
- (3) 授業で学んだところがしっかり理解できているか確認するため、ワークを解きましょう。解いたら必ず丸つけをし、間違えたところは復習します。
- (4) 人間は忘れる生き物ですから、定期的に復習することが大切です。
- (5) 理科の問題で、時々計算問題が出てきます。公式を暗記し小数のかけ算・わり算が正確にできるようにしておきましょう。

3 教科担任から一言

理科の授業では、身の回りの様々な現象について「なぜだろう」という疑問を大切にしていきます。その疑問を解決するために探求する作業が「実験・観察」になります。自分の予想をもとに実験を行い、結果を考察することで「なぜだろう」という疑問が解決していくのはとても楽しいものです。身の回りで起こる様々な現象を当たり前のものととらえるのではなく、その理由やしくみに目を向けながら学習していくと、理科の学習はとても楽しいものになると思います。

探究活動には基本的な知識が必要不可欠です。日々の授業で学んだ内容をしっかり復習し、身につけていきましょう。



英語の学習のポイント

1 特性と学習方法

- (1) 英語を単語だけで覚えようとするのではなく、意味のある文章の中で覚えよう。
子どもの頃読んだお話の中で、使われている言葉など細かく覚えていたりしませんか？英語の教科書を一つのお話だと思って、内容と英文とを結びつけて覚えてみてください。さくらやベッキーたちのやりとりを思い出せば、すぐに単語が思い浮かぶようになります。
- (2) 英単語書き取りは、声を出して、パーツ（部品）を意識しながら。
例えば、understand（理解する）という単語を覚えたいときは、under というパーツと、stand というパーツの組み合わせとして意識すれば、覚えるときの負担が減少します。漢字を部首にわけて覚えるのと同じ感覚でしょうか。ちなみに、under は（下）、stand は（立つ）という意味があり、（しっかり立つための下地や土台 → 理解する）といった覚え方もできます。何も考えずに機械的に10回書き取るよりも、「必ず覚えてやる！」と意識しながら1回書き取った方が絶対に効果があります。
- (3) 教科書の“基本文”は必ず暗記しよう。
“基本文”はそのページで最も大切な文です。それを暗記しておく、単語を入れ替えるだけで様々な表現が可能になります。例えるなら、数学でいう公式のようなものです。
- (4) 英語を使える自分をほめよう。
外国人がたどたどしくも「こにちは」「ありがとう、ごじゃいます」などと言っているのを聞いて、「お、日本語を話してるぞ」と感心しますよね。「日本語お上手ですね」と褒めてしまうかもしれません。それでは、皆さんの英語に置き換えて考えてみましょう。皆さんは当然のように英語で挨拶ができるだけではなく、天気のことを表現したり、自分の好きな食べ物を言ったり、ちょっと英語が得意な人であれば、将来の夢などを言ったりもできるのです。皆さんが外国に行き、外国人の立場になった場合のことを想像してみてください。「この日本人は、中学生なのに英語を話している。スゴイ！」と思われるかもしれません。

2 教科担任から一言

～良い評定をとるためには～

- ・定期テストや小テストでは、答えになる英語が分かっているだけではなく、それを正確に書けるようになっておく必要があります。常に85%以上を目指そう。
- ・音読テストでは、授業中や家庭での音読の積み重ねが大切です。
- ・宿題やワーク提出はすみやかに提出しましょう。

音楽の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 実技（楽器を弾く、歌うなど）が大切な教科です。
- (2) 合唱など、他の人と協力して音楽づくりをする楽しさや感動を味わうことができます。
- (3) 過去の偉大な作曲家の素晴らしい楽曲に出会えます。



2 お勧め学習法

- (1) 基本をしっかり身につけるように、繰り返しの学習が大切です。
- (2) 作曲家の名前と代表曲を勉強してみましょう。
- (3) 楽譜を見て、自分の歌うパートの音や、記号などを確認する習慣をつけよう。
- (4) 音楽記号の書き方、読み方、意味を調べましょう。
- (5) 良い音楽をたくさん聴いて、音楽の世界を広げましょう。

3 教科担任から一言

さまざまなジャンルの音楽を聴いて、音楽に親しんでほしいです。機会があれば、プロの演奏会やコンサートなどに行き、生の音楽を聴きに行ってみましょう。とても良い音楽経験になります。

合唱など、みんなで協力していく場面がたくさんあります。音楽が得意な人も苦手な人も、のびのびと表現できる雰囲気づくりを大切にして、音楽の喜びをみんなで味わってほしいと思います。



美術の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 実技（作品制作）を大切にしている教科です。
- (2) たくさんの作品を鑑賞することで、制作活動に活かされます。
- (3) デザインの能力が将来の生活を豊かにしてくれます。

2 お勧め学習法

- (1) 作品制作に使う様々な道具の正しい使い方を学習しましょう。
- (2) 良い作品の技法を知ること、自分の作品を高めていくことができます。
- (3) 夏休み、冬休みに大作に取り組むことで、技能や感性を高めることができます。
- (4) 有名な作家の名前と代表作を知ること、知識が広がります。
- (5) 美術史の流れを知ること、自分の作品制作に活かすことができます。

3 教科担任から一言

授業での作品制作が遅れている場合に家庭に持ち帰りがないように、なるべく授業内で終了できるよう行いましょう。

- ・ 休日など機会があれば美術館などに出かけ実物の作品を数多く見るとよいでしょう。一緒に見に行った人と感想を述べ合うとことで、鑑賞する力が身につきます。

(美術に関わる物は身のまわりにたくさんあります。衣服、食器、家具、建築物、日用品、工業製品などの色や形に興味を持つことも大切です。)

保健体育の学習のポイント

1 教科の特性

- (1) 球技、体を作る運動、武道、器械運動、保健安全などの学習からなっている。
- (2) 実技が大切な教科である。
- (3) 種目により、様々なルールがある。
- (4) 日常の健康、安全に直結する教科である。

2 お勧め学習法

- (1) 一日一回いい汗をかきましょう。
- (2) 運動の楽しさ、心地よさを味わいましょう。
- (3) 新聞やテレビを見てスポーツに興味を持ちましょう。

3 教科担任から一言

体力向上や運動技能の上達には、規則正しい食生活と休息および睡眠が必要となります。また、運動には、体を動かす前と後の準備とケアがとても大切です。意識して怠らないようにしましょう。

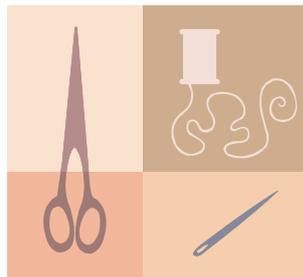


技術家庭科の学習のポイント

1 教科の特性

(1) 技術分野

- ① 木工、金工、情報などからなる教科である。
- ② 実技（作品製作）が大切な教科である。
- ③



(2) 家庭分野

- ① 裁縫、調理、保育などからなる教科である。
- ② 実技（作品製作）が大切な教科である。
- ③



2 お勧め学習法

(1) 技術分野

- ① 作品製作で道具を使うときは、安全に注意して作製しましょう。

(2) 家庭分野

- ① 作品製作に使う道具の正しい使い方を学習しましょう。

3 教科担任から一言

(1) 技術分野

身のまわりで作られているものが、どのような構造できているか興味をもつことが大事です。できれば、夏休みや冬休みなどに自分でいろいろなものを作ってみるとよいでしょう。

(2) 家庭分野

生活の自立に必要な衣食住や家庭生活、くらしについて実習をまじえて学ぶ学習です。普段から家庭生活における手伝いを衣から一つ、食から一つ、住から一つ進んで取り組むとよいでしょう。むずかしく考えず暮らしの中で “できることは実践する” で身につきます。

家庭学習でどんなことをしているのか悩んだときは、各教科の中から自分に必要なことややってみたいことなどを選んで取り組んでみましょう！！
続けてやることが何より大切です。無理せず、コツコツと積み重ねを